

## 社会資本総合整備計画

計画の名称	小林地区都市再生整備計画										重点計画の該当																					
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)					交付対象		御所市																								
計画の目標	<p>大目標 安全で安心して暮らせる文化交流をとおしてのまちづくり</p> <p>①芸術を介しての人と人との交流ができるまちづくり</p> <p>②新たな市民の集まる場所づくりを行うことにより、多くの人が集い健やかな暮らしを育むまちづくり(良好な新たなコミュニティの形成づくり)</p> <p>③地域の住民が安心して暮らせるまちづくり</p>																															
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流センターを整備することにより市民が集い交流を図れる場所作りを行うと伴に、ソフト事業(和太鼓教室等)を行い、人が集うシステムのづくりも同時に行う。</li> <li>避難場所を整備・避難ルートの安全性の確保を行うことにより、安心して暮らせるまちづくりを行う。</li> </ul>																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・施設利用者数(年間利用者総数により算出)</td> <td>2,328人/年</td> <td>2,500人/年</td> <td>3,000人/年</td> </tr> <tr> <td>・和太鼓教室の生徒(現在の指導者と生徒数)</td> <td>66人</td> <td>80人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>・避難ルートの認知度(住民各自が避難ルートを認知している割合)</td> <td>12%</td> <td>25%</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	・施設利用者数(年間利用者総数により算出)	2,328人/年	2,500人/年	3,000人/年	・和太鼓教室の生徒(現在の指導者と生徒数)	66人	80人	100人	・避難ルートの認知度(住民各自が避難ルートを認知している割合)	12%	25%	50%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																													
	・施設利用者数(年間利用者総数により算出)	2,328人/年	2,500人/年		3,000人/年																											
・和太鼓教室の生徒(現在の指導者と生徒数)	66人	80人	100人																													
・避難ルートの認知度(住民各自が避難ルートを認知している割合)	12%	25%	50%																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	247.8百万円	A	247.8百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H25	H26	H27	H28	H29																			
1-A-1	都市再生	一般	御所市	直接	御所市	小林地区都市再生整備計画事業	区域面積=36ha	御所市						247.8																		
														合計	247.8																	
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H25	H26	H27	H28	H29																			
														0																		
														合計																		
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																			
C-1														.																		
														0																		
														合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
C-1																																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																			
D-1																																
番号												備考																				
1-D1-1																																

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	36.5	10.1	13.0	16.9	
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	36.5	10.1	13.0	16.9	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	36.5	0.0	0.0	
支払済額 (e)	0.0	46.6	13.0	16.9	
翌年度繰越額 (f)	36.5	0.0	0.0	0.0	
うち未契約繰越額 (g)	36.5	0.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	100.0%	0.0%	0.0%	0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	計画に関する諸条件による(改修計画の作成等に不測の日数を要したため)				

※ 平成29年度は、決算額が確定でき次第記載。

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 小林地区都市再生整備計画 事業主体名: 御所市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①都市再生基本方針との適合等</b>	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
<b>②地域の課題への対応</b>	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
<b>④事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
<b>⑤地元の熱意</b>	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>